

2 10月の見通し

野菜

野菜の生育に適した気温となり、関東産の入荷が増えることから、連休以降に一部品目で数量増となる見込み。「キャベツ類」「ほうれんそう」「レタス類」等葉菜類では高温を嫌い、は種や定植をやめたり遅らせた生産者も各地でみられ、一部産地で入荷量やピークの変動が予想される。

「きゅうり」「トマト」「ピーマン」等の果菜類では猛暑の影響で樹勢の低下や着果不良、品質のばらつきがみられる。

野菜全体では、入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年並を見込む。

果実

「極早生みかん」「りんご類」「かき類」中心に入荷し、早いところでは「いちご類」の出回りが始まる。

「極早生みかん」は干ばつや日焼け等、裏年の傾向があり、入荷量は前年を下回るが、高糖・高酸により食味は優れる見込み。「りんご類」は品質・食味とも良好で、入荷量も前年をかなり上回る見込み。「かき類」は日焼け果やカメムシ類被害の影響から、前年をやや下回る見込み。

果実全体では、入荷量は前年並、価格は前年をやや上回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	↘↘	↘↘	↑↑	主産県は千葉県、北海道。北海道の切り上がりが多い(下旬)ものの、関東産は出荷が早まり、5日ごろ出荷が始まり、10日ごろから数量がまとまるため、端境は生じない見込み。全体の入荷量は前年並で平年をかなり下回る見込み。
キャベツ類	↗	↘	↓↓↓	↗	主産地は群馬県、千葉県、茨城県。群馬県は終盤につき減少していく。後続の千葉県・茨城県は順調～やや不良だが、量がまとまるのは下旬ごろで、群馬県の減りの方が早い。入荷量は前年値をやや上回り、平年をやや下回る見込み。
きゅうり	⇒	↘↘	↘↘	↗↗	主産地は群馬県・埼玉県・福島県。9月末～10月上旬に東北産が終了し、関東の抑制作は猛暑の影響で入荷量が少なく、上旬は引き合いが強まる。中旬以降は西南団地等からの入荷があり、下げ基調となる見込み。入荷量は前年並で平年をかなり下回る見込み。
トマト	↗↗	↓↓↓	↓↓↓	↑↑	主産地は千葉県・熊本県。千葉県は高温の影響による着果不良やウイルス病の影響で数量減の見込み。熊本県は生育順調で1日から選果場を稼働させ、品種変更もあり年内出荷が多くなる見込み。予想入荷量は不作の前年をかなり上回るものの、平年を大幅に下回る見込み。
さといも	↗	↗	⇒	⇒	主産地は埼玉県。生育は順調で豊作傾向。他品目との兼ね合いで出荷作業が前進傾向にあり、選果場も本格稼働して前年よりも増量ペースは早め。入荷量は前年をやや上回る見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上